

日本骨髄バンクの現状（2003年5月末）詳細は別添一覧を参照下さい。

	前月	当月	現在数	累計数
ドナー登録者数	1,513	1,657	170,560	213,758
患者登録者数	129	159	2,134	14,341
骨髄移植例数	47	59	-	4,858

注) 数値は速報値のため次月以降に訂正されることがあります。

① 移植5000例まであと142例。9月28日に記念大会を実施します。

日本骨髄バンクでの骨髄移植件数は、1993年1月に第1例が実施されて以来、10年経過した本年8月には5000例に到達する予定です。本年5月までに4858例の移植が実施されていますので、あと142例です。1000例到達は1997年2月(4年1カ月)、2000例は1999年5月(2年3カ月)、3000例は2000年12月(1年7カ月)、4000例は2002年2月(1年2カ月)にそれぞれ到達しています。()内は次の1000例達成までの期間です。) 当財団は、これまでの軌跡をたどり、今そしてまだ「待っている患者さん」のために、関係者する皆様の認識を高めてドナー登録目標の30万人へとつなげるため、9月28日(日)午後1時30分より、早稲田大学大隈講堂において、5000例到達記念「骨髄バンク推進全国大会2003」を開催します。多くの皆様のご参加をお待ちしております。(詳細は7月、8月のマンスリーでお伝えします。)

② 5月のドナー登録会報告。事前登録説明会もスタート

5月のドナー登録者数は1657人で、取消者数は554人、実質増加数は1103人で前年同月の登録者数の112%という実績でした。登録会は60回実施され(うち献血併行型56回)、合計753人の方にご登録をいただきました。登録会の回数、人数共に前年同月を上回りましたが、固定窓口の登録者が登録会登録者の割合をわずかに上回りました。都道府県別のドナー登録会開催数は、福島8回、京都、沖縄7回、富山6回、東京5回、栃木、石川4回、新潟、岐阜、愛知3回、茨城2回、北海道、宮城、埼玉、千葉、神奈川、兵庫、奈良、佐賀1回でした。登録回数上位の福島県、京都府、富山県は、行政の献血スケジュールに骨髄ドナー登録会を汲み入れる方式でドナー登録会を順調に開催していただいています。また、今年度から始まった事前登録説明会は20回開催され、うち16回は大阪の「友情」公演会場という新発想での試みでした。また、職域献血実施が予定される企業での開催は効果的な取組となっています。

3 ドナー登録推進を防衛庁、東京都へ要望。全国への波及効果を期待！

ドナー登録推進員配置（富山県方式）東京都へ要望 6月2日（月）、当財団はボランティアの方々の熱心な働きかけにより、公明党都議会石井幹事長などの同席のもと、東京都産業労働局長に対してドナー登録推進のため「緊急地域雇用創出特別基金を活用し、ドナー登録推進員の配置」を要望しました。都産業労働局長からは、健康局とも協議し連携して要望に応えるつもりであり、今秋から推進員を採用配置する意向が表明されました。この基金活用は、すでに富山県、茨城県で開始されており、それぞれドナー登録者が大幅に増加する成果を上げています。今後、これらの例が全国に波及することが期待されます。防衛庁へドナー登録推進を要望 6月6日（金）、全国骨髄バンク推進連絡協議会と当財団は合同で上川陽子衆議院議員の同席のもと、防衛庁に対しドナー登録推進への協力を要望しました。具体案として、ポスター、パンフレット等の配付による普及啓発、沖縄県で実施されている献血併行型登録会を全国で計画的に実施することを提案しました。小島敏男長官官房政務官及び運用局衛生官（課長）からは「全国の各自衛隊部隊に対し、協力するよう連絡通知したい」との意向が表明されました。登録会の開催は、各地の支援団体、地区普及広報委員などから各部隊と日赤へ申し入れが必要となります。全国協議会からは、各地の支援団体と連携して全面的に協力する旨の力強い支援を表明されています。各部隊単位で多数の登録者が見込まれる場合は、事前説明会の説明済証を有効活用するなど、今後、各地で詰めていくこととなります。

4 「地区普及広報委員・説明員合同研修会」を各地で開催しています。

本年度は、地方自治体への国庫補助金が廃止され、地方交付税への移行措置されるなど、骨髄バンク事業を取り巻く環境が大きく変化しています。一方、ドナー登録目標は年間3万5千人へと拡大され、地域での普及啓発とドナー登録会に携わる地区普及広報委員、説明員の役割が以前にもまして高くなってきました。そこで、本年度の事業計画に基づき、啓発活動全般やドナー登録会開催の成功例、失敗例など、情報の交換、共有化をはかることで、さらなる登録者の増加につなげるため「地区普及広報委員・説明員合同研修会」を開催いたします。（新潟会場6月8日、大阪会場15日、16日は終了）なお、研修会は公開で行います。地区普及広報委員、説明員以外で参加希望の方は事前に広報渉外部までお申し出下さい。6月21日（土）福岡県赤十字血液センター天神出張所 6月28日（土）仙台福祉プラザ・11階第1研修室 6月29日（日）財団事務局（廣瀬第2ビル3階会議室）7月2日（水）財団事務局（廣瀬第2ビル3階会議室）7月5日（土）札幌市社会福祉総合センター第二会議室 7月12日（土）名古屋第一赤十字病院・古川講堂

5 骨髄バンクニュース22号、7月2日発行。手にとってお読みください。

年2回発行している骨髄バンクニュースを7月2日に発行します。今回はドナーの方と患者さんのインタビュー、6月12日にさい帯血移植1000例到達のニュースがあり、最近実施例が急増し注目を集めている「さい帯血バンク」と「骨髄バンク」を比較し双方の重要性について取り上げました。さらに、公共広告機構の新キャンペーンなどについてのトピックスを掲載しています。ドナー登録者の皆様には、早い方で7月3日から、複数部数を申し込まれた関係者の皆さまには7月第2週目からお手元に届く手配をしています。

6 「全国骨髄バンクボランティアの集い」横浜で開催

5月17日(土)、横浜市開港記念館において、全国骨髄バンク推進協議会は総会に併せ「ボランティアの集い」を開催しました。式典、記念ポスターコンクール表彰式に引き続き、「患者家族が語りはじめる時」と題し、朝日新聞上野創記者が、自らのがん闘病体験談を講演し、その後、患者家族、看護師、ボランティアがそれぞれの立場でしてきたこと、できることを発表し、会場の参加者も「自分にできること」を自ら問い掛けました。併催事業として、医療講演会、個別相談会が同会館で開催されました。翌18日には総会と横浜そごう前でドナー登録会、パネル展が開催されました。なお、上野記者の著書「がんと向き合って」(晶文社)は、その後、第51回日本エッセイスト・クラブ賞に選ばれました。

7 第25回通常理事会と評議員会、財団各委員会開催予定

6月27日(金)、15時から第25回通常理事会、第25回通常評議員会が当財団のある廣瀬第2ビル3階会議室(東京都千代田区)において公開で開催されます。平成14年度事業報告案、平成14年度一般会計及び特別会計収支決算報告案等について審議される予定です。理事会、評議員会、公開委員会の傍聴をご希望の方は、事前に財団事務局までお申込みください。

<http://www.jmdp.or.jp/info/oshirase/index.html>

国際協力事業の状況()、HLA照合サービス状況期間

日本 米国	
米国 日本	
日本 台湾	
台湾 日本	
日本 韓国	
韓国 日本	
その他の国 日本	

お知らせ